

荒川区バリアフリー基本構想推進協議会

議 事 要 旨

日時：令和7年3月5日（水） 16:00～17:00

場所：サンパール荒川 5階 第7集会室

議事次第

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 荒川区バリアフリー基本構想（更新版）の説明
- (2) 特定事業計画（短期事業）の結果及び評価
- (3) 特定事業計画の進捗状況の報告
- (4) その他の取組みの報告

3. 閉 会

1. 開 会

- ・ 防災都市づくり部長挨拶
- ・ 配付資料の確認
- ・ 会長、副会長の選任

2. 議 事

(1) 荒川区バリアフリー基本構想（更新版）の説明

[資料説明]

事務局が荒川区バリアフリー基本構想（更新版）について説明

[質疑応答]

特になし

(2) 特定事業計画（短期事業）の結果及び評価

[資料説明]

事務局が特定事業計画（短期事業）の結果及び評価について説明

[質疑応答]

< 委員 >

バリアフリースイレの利用マナーが悪い場合があるとのことだが、地域特性はあるのか。

< 委員 >

地域特性というよりは、人の気配がない場所で、汚される又は壊されるなど、マナーの悪い使われ方をされる傾向にある。区としてはパトロールの強化、注意喚起のポスターの掲示及び清掃を最低1日1回行うなどで対応している。

(3) 特定事業計画の進捗状況の報告

[資料説明]

事務局が特定事業計画の進捗状況の報告について説明

[質疑応答]

特になし

(4) その他の取組みの報告

[資料説明]

事務局がその他の取組みの報告について説明

<委員>

鉄道会社で車いす利用者を交えて訓練をしているとのことだが、車いすを利用している障がい者は、常に緊急時にどのように避難するのか不安がある。

障がい者向けに緊急時避難マニュアルを公開していただけないか。

<委員>

弊社では社員向けの緊急時避難マニュアルはあるが、お客様へのマニュアルは作成していない。いただいたご意見については、今後の検討に生かしていく。

<委員>

鉄道駅のバリアフリーについて、山手線の東京駅に車いす利用者が単独でも降車できる場所があり、その付近の柱にはバリアフリーの情報を案内する二次元バーコードがある。しかしその上にテープが貼ってあり、読み取ることが難しかった。貼っておけばよいのではなく、きちんと使えるようにしてほしい

<会長>

荒川区外の施設はであるが、維持管理上、大切な話である。障がい者にとって使いやすい施設となるよう設置する部門の方だけでなく、維持管理に携わる方にも情報を共有していただきたい。

<委員>

千住間道のコンビニエンスストア前の信号機について、初期型の押しボタンが設置されているが、障がい者にとってはボタンが固く感じるので、対策をしていただきたい。

<会長>

千住間道は警察署やスポーツセンター、学校など公共性の高い施設が多く、障がい者もよく使う道路なので、各事業者においては配慮をお願いしたい、

<会長>

他に意見がないようなので、以上をもって会議を終了する。

3. 閉 会